

氏名	齋藤恵子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学、助産学、国際看護学				
学位	学士（看護学）、修士（保健医療学）、博士（健康科学）				
学歴	2003年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究所博士前期課程修了、2006年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究所博士後期課程単位取得満期退学、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究所博士後期課程修了				
経歴	2003年埼玉県立大学短期大学部専攻科助産学助手、05年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本助産学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本国際保健医療学会、日本母性看護学会、日本母性衛生学会、日本思春期学会、日本性感感染症学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本国際看護学会（評議員）、日本健康学会、日本保健福祉学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	第108回看護師国家試験解答と解説 (母性看護学)	共著	あり	医学書院、158ページ	石井邦子、川村紀子、杉本亜矢子、大月恵理子、青木恭子、齋藤恵子、千葉真希子、山本英子	2019年4月
2	看護学テキストNICE国際看護 第V章 2.在日外国人・訪日外国人への医療と看護 第VIII章 1.在日外国人・訪日外国人への医療と看護の実際	共著	あり	南江堂、271ページ（内101-106、208-2013担当執筆）	編集：森淑江、山田智恵理、正木治恵編集（内101-106、208-2013担当執筆）	2019年4月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	在日ラオス人女性の母国における産後の伝統的プラクティスに対する認識と実践	共著	あり	日本健康学会誌、85(4)、129-140	齋藤恵子、萱場一則、鈴木幸子、延原弘章、金野倫子、浅川泰宏	2019年7月
2	ラオスにおける産後の伝統的プラクティスの日本の産科医療施設での実践可能性 - 埼玉県の産科医療施設看護管理者の認識	共著	あり	日本保健福祉学会誌、5(2)、3-17	齋藤恵子、鈴木幸子、延原弘章、金野倫子、萱場一則	2019年8月
3	ラオスにおける産後の伝統的プラクティスの日本の産科医療施設での実践可能性	単著	あり	埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究所博士論文	齋藤恵子	2020年3月
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	リプロダクティブヘルスと看護		3コマ	文化や慣習と妊娠出産と助産ケアについて検討した。グループ演習・発表討議ではリプロダクティブヘルスに関する課題について理解し、看護の視点で考察が深められるよう取り組んだ。		
0	グローバルヘルス		3コマ	ジェンダーと健康、リプロダクティブヘルス・母子保健の現状について統計データ、動画や画像を用い、グローバルヘルスに関する理解が深められるよう工夫した。海外活動経験者を招聘した講義では学生が関心を持ち、理解しやすいよう担当者・ゲストスピーカーと協力して授業運営を行った。		

1	母性看護学Ⅱ（女性と家族）		1コマ	思春期の女性と家族の性と生殖に関連する課題について検討するため、webclassを活用し、学生の授業参加を取り入れた。
1	母性看護学Ⅲ		5コマ	産褥・新生児期の看護過程展開のための紙面事例を作成し、母性看護学領域における看護過程の特徴、特にウエルネス診断についての授業、グループ演習および個別指導を行った。
2	周産期のケア		1コマ	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を行った。助産師の業務の根拠となる法について理解できるよう具体例を示しながら説明した。
3	分娩期のケア		1コマ	3年次助産系履修学生を対象に、分娩施設の選択、出産方法の選択、望ましい出産体験のためのケアについて講義を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	周産期のケア		6コマ	3年次助産系履修学生を対象に、本科目の演習では妊婦健診、個別保健相談をロールプレーを用いて行った。集団教育発表会では企画面での留意点について各グループで共有しやすうようにコメントをした。
2	分娩期のケア		20コマ	3年次助産系履修学生を対象に、本科目の分娩介助演習では原理原則に基づく、基本的な分娩介助技術を習得できるよう取り組んだ。
3	グローバルヘルス		2コマ	グローバルヘルスに関する学生のグループ演習ではテーマ別の検討・グループ発表を支援した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	IPW実習		学外実習： 2019.10	4年次生5名の学生を担当し、チーム形成から報告会までの活動を教員ファシリテーターとして支援した。
2	母性看護学実習	○	学外実習： 2019.5～2019.6 学内実習：5コマ	科目責任および実習2カンファレンス、実習1施設を担当し、3年次生を対象に受け持ち事例を通して褥婦および新生児とその家族を理解し、ケア計画立案、実践・評価について助言・支援を行った。
2	総合実習		学外実習： 2019.7	4年次4名の学生を担当し、学生が自身の実習課題を明確化できるように事前指導を行い、自己の課題を明確化できるよう支援を行った。
3	助産学実習Ⅱ		学外実習： 2019.8～2019.9	4年次2名の学生を担当し、1施設を担当し、学生の実習進捗度に合わせて分娩介助実習指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	看護学科卒業研究	2019.4-2020.1	主指導 4	副指導 1
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	大学院生への研究支援	2019.10	博士後期課程院生の中間発表前の予演会に出席し、質問等を行った。	
2	卒業生の研究支援	2019.4-2019.8	病院内看護研究の母性衛生学会一般演題発表の支援を行った。	
	助産師国家試験関連科目履修についての支援（交流会）	2019.1	助産コース3年生と2年生の交流会の支援を行った	
3	助産師としての就職活動支援（交流会）	2020.1	助産コース4年生と3年生の交流会の支援を行った	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立松伏高校	性教育講演	2019.7
2	埼玉県立大学出張講座	群馬県立館林高校	性教育講演	2019.11
3	埼玉県看護協会一般研修	埼玉県看護協会	ウイメンズヘルス研修	2020.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県看護協会	助産師職能委員	2014.6～現在	
2	埼玉県看護協会	予備代議員	2015.6～2019.6	
3	埼玉県看護協会	2019年度通常総会議長団	2019.6	
4	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	技術専門員 (助産師)	2019.9～現在	
5	越谷市男女共同参画支援センターほっと越谷	リプロダクティブヘルス・ライツ講座企画メンバー	2015.8～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	国際協力事業	日本国際看護学会	2019年度 東日本研修会企画・運営	2020.9
2	国際協力事業	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	JICAボランティア2019年秋募集への協力	2019.12
3	地域貢献活動	晃陽学園	国際助産学講義(4コマ)	2019.11
4	地域貢献活動	越谷市男女共同参画支援センターほっと越谷	性と生殖に関する健康と権利についての講座「スポーツドクターに聞く 女性アスリートの健康」企画・運営	2020.2
5	地域貢献活動	埼玉県立桶川高校	「桶高クエスト・チャレンジカップ2021」出席	2020.2
5. 学内運営				
	項目		内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員		2018.4-2020.3
2	大学広報活動	オープンキャンパス担当		2019.8
3	学生支援	学年担任		2019.2～現在
2	学科等における委員会等	日本看護系大学協議会(JANPU)関連業務担当		2018.4～2020.3
4	学科等における委員会等	保健師・助産師関連科目履修者選考委員		2018.4～2020.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名		主催	受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名		特許番号	登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				